

どこに住んでいても、
その人にとって適切な医療が
受けられる社会へ

“東京の地域医療”を支える看護



地域医療を支える、正志会グループ

1. 東京の地域医療を支える正志会グループについて

理念：医療をもって社会に貢献する

急性期医療を中心とした地域包括ケアの実現に向け幅広い患者さんを受け入れる

今後高齢化が進行する中で、国が進める地域全体で住民の健康を診る地域包括ケアは急務な課題となります。それは東京都においても例外ではありません。私たちは、この地域包括ケアを実現するための病院として役割を担っていきたいと考えています。そのため、地域救急医療センターとなる病院、回復期リハビリテーション病院、地域包括ケア病床を有する病院、慢性期病床を有する病院を運営し、その特性に合わせて高度急性期の患者さんから回復期、そして慢性期に至る方々まで幅広く受け入れています。さらに、患者さんを地域の生活する場にお返しするために在宅診療所や訪問看護ステーションも運営し、退院後の在宅医療においても重要な役割を果たしています。

優秀な専門医が揃っている－高齢化とともに総合診療医の力が必要になる

私たちの病院には、非常に優秀な専門医が揃っています。そのため、患者さんは安心して治療を受けることができるのではないのでしょうか。私は医師には、専門医としての能力に加え、今後はさらに総合診療医としての能力を持ってほしいと考えています。例えば、これからの医師には、専門が整形外科であっても風邪の症状を的確に診断できるような力が必要になるのではないのでしょうか。それは、高齢者は複合的な疾患を抱えることが多く、専門分野外の診療が必要になるからです。つまり、専門家であると同時に総合的に患者さんを診ることができるプライマリ・ケアに対応できることが重要になっていきます。このため、私たちの病院では、総合診療医を病院全体で育てていきたいと考えています。

高齢者の増加とともに介護との連携も重要となる

今後、全国的に高齢者は増加していきますが、東京では同時に核家族化が進行しています。核家族化は、老々介護や独居の高齢者の増加につながる重要な課題です。地域包括ケアにおいて医療は重要ですが、これらの課題は医療だけでは解決できません。介護との連携など、医療を超えた事業を作りだすことが重要になります。高齢化が深刻化する2025年には、東京都で在宅医療が必要な患者さんは1日につき約14万人になり、今より5万人増えると言われています。在宅医療の実現のためには、医療と介護の連携など多職種の連携は避けては通れないでしょう。

東京都では医療連携が重要となる－ネットワーク化の実現に向けて

東京都は全都的に広く患者さんが移動すると言われています。それは、がんのように急がずにじっくりと専門医を選んで受診するような病気や治療に緊急を要さない慢性期の患者さんは、必ずしも地元の病院を選ぶとは限らないからです。また、治療に緊急を要する患者さんであっても自宅と離れた地域に搬送される場合もあります。そのため、東京都においては、地元のみならず全域に渡る医療連携が重要になるでしょう。

電子カルテのネットワーク化・地元の病院へお返しするための病院救急車

地域包括ケアの実現に向けて－生活者を支える病院へ

お話してきたように、今後高齢化が進行する中で、地域で患者さんを診る地域包括ケアを支える医療が重要になります。地域包括ケアとは、生活者を中心に置いた医療介護サービスです。その領域は、疾患の治療のみならずヘルスケア全般に及び、生活者を支えるということの意味します。生活者の視点に立ち、生活を支える医療でありたいというのが私たちの願いです。そのために、私たちは患者さんを選ぶことはありません。どなたにも来ていただきたいと思っていますし、どんな患者さんにも対応できる病院を目指していきます。

新型コロナウイルス感染症への対応

私たちは必要とされる医療を提供することが使命と考えています。新型コロナウイルス感染症に対する医療は、絶対的に必要とされるものであり、平成立石病院、南町田病院、花と森の東京病院で入院医療を提供し、荒木記念東京リバーサイド病院や葛飾リハビリテーション病院ではポストコロナの患者さんを受け入れました。発熱外来、PCR検査などの検査、ワクチン接種は全病院で行いました。その他臨時医療施設の運営なども行い、おそらく日本一新型コロナウイルス感染症の診療を行った民間グループではないかと自負しております。要するに高齢化に対応した医療であっても、感染症に対応する医療であっても、住民の方に必要とされる医療を提供することが私達の使命です。私達でなくてはできないことを考え私達なりの進化をし続け、ニーズに応え続けていきたいと考えております。



ペンギングループ
理事長 猪口正孝
医師・医学博士

災害医療・救急医療・COVID-19への取り組み/チーム医療



いち早く、
当事者意識をもって



ペンギングループの名前の由来

グループの初めての病院「平成立石病院」を開院した時のこと。手術に診療に、誰よりも院内を動く猪口院長(当時)の姿とペンギンとを重ねて、入院中だった患者様(デザイナー)がロゴマークを作成してくれたのが始まりです。今のグループのスタートを築いた猪口理事長はまさにファーストペンギンでした。あれから20年以上が経過した今、当グループには、今、その時々ファーストペンギンがたくさんいます。そんな組織になりました。ファーストペンギンとは、“いつも同じ誰か”なのではありません。“誰もが”ファーストペンギンになります。当グループでは、「当事者意識」「自分事として」という言葉がたびたび登場します。

必要な時には誰もがファーストペンギンになろう!
そんな願いが込められているのです。



- 2002年 平成立石病院開設
- 2003年 医療法人社団正志会開設
- 2004年 南町田病院開設
- 2005年 医療法人社団直和会開設
- 2009年 東京リバーサイド病院開設
- 2011年 正志会 社会医療法人認定
南町田訪問看護ステーションペンギン開設
- 2012年 立石訪問看護ステーションペンギン開設
- 2013年 花と森の東京病院開設
- 2015年 花と森の訪問看護ステーションペンギン開設
東京リバーサイド訪問看護ステーションペンギン開設
- 2016年 葛飾リハビリテーション病院開設
平成立石ペンギンクリニック開設
立石介護支援センターペンギン開設
南町田介護支援センターペンギン開設
東京リバーサイド病院「荒木記念東京リバーサイド病院」に名称変更
- 2018年 ペンギンステイ南町田(看護小規模多機能型居室介護)開設
南町田ペンギン在宅診療所開設
- 2022年 令和あらかわクリニック開設
- 2023年 令和あらかわ病院開設



平成立石病院



資格取得支援
あり

寮あり
※規定あり

職員用
保育園あり

特定行為
研修あり

1. 救急患者受け入れ件数が都内有数

年間8000-9000件の救急搬送患者さんの受け入れ件数は、常時都内トップ10に入っています。

2. 地域密着型の高度医療を提供

脳卒中センター・消化器病センター・尿路結石破碎センターがあります。新型コロナウイルス感染症患者重点医療機関として多数の患者様の治療にあたりました。

3. 地域連携・グループ内連携

日本医科大学付属病院をはじめとする大学病院・地域の医療機関・グループ内医療機関との連携により、「救う・治す医療」だけでなく「支える医療」へつなげています。



副院長・看護部長 高橋素子

所在地	〒124-0012 東京都葛飾区立石5-1-9 TEL03-3692-2121 FAX03-3692-2663
診療科目	内科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、泌尿器科、肛門外科、麻酔科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、神経内科、救急科、リハビリテーション科
病床数	203床 急性期一般入院基本料 I (7:1)171床、地域包括ケア病棟32床
病院機能	東京都指定地域救急医療センター、東京都災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院

葛飾リハビリテーション病院



特定行為
研修あり

多職種・チーム
でサポートして
います

職員食堂が
人気です

寮あり
※規定あり

1. 葛飾区で初の回復期リハビリテーション病院

葛飾区で初のリハビリテーション病院として、脳血管疾患・運動器疾患を中心としたリハビリテーションを提供しています。

2. エビデンスに基づいたリハビリテーション

セラピストを中心とした多職種連携で一人ひとりの患者様に必要かつ効果的なリハビリテーションを提供しています。多職種がそれぞれの専門性を生かし、協働しています。

3. リハビリ後の患者様を想定した「支える医療」を提供

リハビリ後の患者様を想定した「支える医療」を提供この先の日常生活や暮らしを支える医療を提供しています。



看護部長 鶴ヶ崎かほる

所在地	〒125-0061 東京都葛飾区亀有2-18-27 TEL:03-6231-2020 FAX:03-3604-8041
診療科目	内科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科
病床数	83床 回復期リハビリテーション病床
病院機能	日本医療機能評価機構認定病院

南町田病院



1. 地域の中核病院

救急・急性期医療を中心に地域に貢献する病院です。
年間救急受け入れ件数3000～5000件

2. 多職種連携で急性期から回復期まで

多職種が協働して、患者様の治療後の回復期リハビリ・サポートにも力を入れています。

所在地 〒194-0004東京都町田市鶴間4-4-1
TEL : 042-799-6161 FAX : 042-799-7711

診療科目 内科(循環器、消化器、呼吸器、神経、腎臓、透析)、外科(消化器、呼吸器)、
乳腺外科、形成外科、肛門外科、リハビリテーション科、麻酔科、整形外科、
脳神経外科、小児科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、婦人科、眼科、救急科

病床数 222床 急性期一般入院基本料 I (7:1)61床、
HCU15床、地域包括医療56床、地域包括ケア56床、回復期34床

病院機能 東京都指定地域救急医療センター、東京都災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院



看護部長 高橋久美子

令和あらかわ病院



1. 東京女子医大東医療センター跡地で地域医療を支える中心的な医療機関として

地域住民の方が安心して生活できるように、
24時間365日患者様をしっかりと受け入れています。

2. 日本医科大学付属病院の特別連携病院として

先進・高度専門医療・三次救急を行う大学との強い連携により、
スムーズな継続的医療の提供をしています。

3. 赤ちゃんから高齢者まで幅広く

充実した診療科により、小児から高齢者まで幅広い診療を行っています。



看護部長 渡辺 洋子

所在地 〒116-0012 東京都荒川区東尾久5-45-1
TEL:03-6807-7500 FAX:03-6807-7503

診療科目 内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、腎臓内科、外科、整形外科、脳神経外科、
消化器外科、形成外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、
眼科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科

病床数 240床
急性期一般入院基本料 I (7:1)113床、ICU16床、回復期リハビリテーション111床

病院機能 東京都指定二次救急医療機関、東京都災害拠点病院

花と森の東京病院



1. HUB機能を発揮する病院

グループ内外との強い連携関係により、大学・地域・グループ病院をつないでいます。急性期・回復期の患者様が安心しての治療・療養できるよう当院がHUB病院として、しっかりとサポートしています。

2. この地に長く続く地域に欠かせない病院

昭和11年からこの地にある地域に欠かせない病院です(旧財務省病院を継承)。急性期から回復期までトータルに患者様の治療・回復をサポートしています。



看護部長 名古屋由佳子

所在地	〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-3-6 TEL:03-3910-1151 FAX : 03-3940-5710
診療科目	内科、外科、整形外科、脳神経外科、麻酔科、耳鼻咽喉科、眼科、婦人科、泌尿器科、リハビリテーション科、皮膚科、形成外科、救急科、健診センター
病床数	199床 急性期一般入院基本料 I (7:1)102床、地域包括ケア42床、回復期リハビリテーション55床
病院機能	東京都指定二次救急医療機関、東京都災害拠点連携病院 日本医療機能評価機構認定病院

荒木記念東京リバーサイド病院



1. 分娩件数年間800件以上

無痛分娩にも対応しています経験豊富な産科医 & 助産師がケアいたします。

2. レディースリハビリ

産褥期リハ(骨盤ケア)に力を入れており、高い評価を得ています。

3. 赤ちゃんから高齢者まで地域医療に貢献

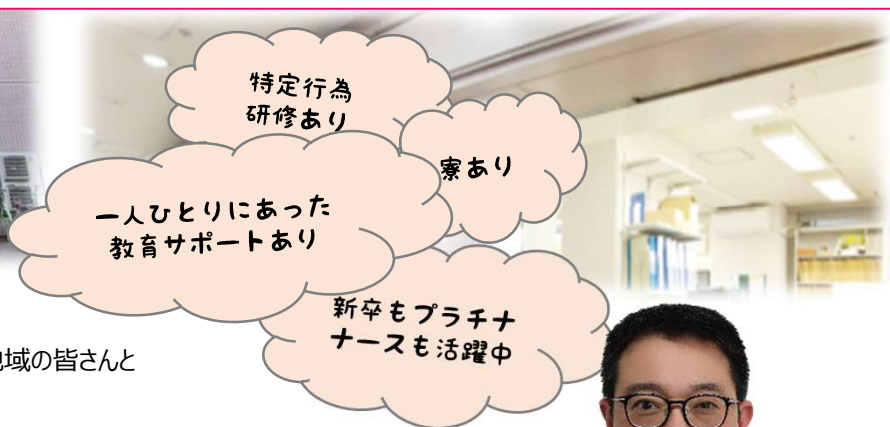
赤ちゃんから高齢者まで地域密着型の病院です。



看護部長 梶村美穂子

所在地	〒116-0003 東京都荒川区南千住8-4-4 TEL03-5850-0311 FAX03-5850-0312
診療科目	産科、婦人科、小児科、内科、外科、乳腺外科、整形外科 リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科
病床数	115床 レディース病棟60床、急性期一般入院基本料IV(10:1)41床 地域包括ケア14床
病院機能	東京都指定二次救急医療機関、日本医療機能評価機構、東京都周産期連携病院

亀有病院



1. この地で長く地域医療を展開

1941年から地域の皆さんに親しまれてきた病院です。今も地域の皆さんと密接に関わりながら必要な医療を提供しています。

2. 急性期・回復期・慢性期・在宅まで地域包括ケアを提供

長年この地で暮らす方々が安心して生活できるように急性期から在宅までシームレスな地域包括ケアを実践しています。

所在地	〒125-8520 東京都葛飾区亀有3-36-3 TEL：03-3601-0186 FAX：03-3604-5518
診療科目	内科、循環器科、呼吸器科、外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、内視鏡科、リハビリテーション科
病床数	98床 地域包括ケア60床、療養病床38床



看護部長 植山誠一

寿康会病院



- ① 質の高い医療、心のふれあう医療を提供します。
- ② 医学の進歩に順応し、地域医療の充実に貢献します。
- ③ 職員間の協力を図るとともに、教育および育成に努力します。

開院日	2004年10月1日
所在地	〒136-0073 東京都江東区北砂2-1-22 TEL:03-3645-9151 FAX：03-3646-1295
診療科目	内科 外科 皮膚科 呼吸器科 リハビリテーション科、整形外科 小児科 心療内科
病床数	49床 地域包括ケア病床

地域密着型の
アットホーム
な病院です。



文化放送ラジオでグループの理念・方針・看護部のあれこれを紹介^^

内容はコチラ



https://kango.bunnabi.jp/s/qrradio_002234.php



2. 正志会グループの看護



看護師

「細やかな連携」で地域医療を支える

急性期から回復期・慢性期、そして産科医療まで、ペンギングループの各病院がその地域での医療を支える一翼を担っています。新人・中堅・ベテラン個々が輝き活躍できる場があります。

急性期医療は病気を見つけ治す、そして救急医療に貢献するとされています。今では新型コロナウイルス感染症医療に積極的に参加する重要な役割も加わりました。回復期や慢性期医療は最終的には在宅ケアを見据えながら様々な面で支えるとされています。ペンギングループは真の意味で各病院同志が細やかに連携することをはじめ、地域医療に貢献していると自負しています。

加えて産科医療に特化した病院もあり、グループ病院の多くが訪問看護ステーションや在宅医療、在宅ケアに取り組んでいます。看護職は個々のキャリアをととても重要視しています。継続教育も時代に即応し、特定行為研修教育施設として修了者を毎年輩出している病院もあります。



助産師

命の誕生に立ち会える仕事

妊娠期から産後期の母児やその家族に関わり、地域につなげる仕事です。助産師として母児に関わる喜びを大切にすることでなく、自分自身の知識やスキルを学び実践しながら成長を実感できる職場です

荒木記念東京リバーサイド病院は、年間約1000人のベビーが誕生します。無痛分娩、双胎対応も行っています。「母と子にやさしい病院創り」の理念のもと、チーム医療を提供しています。レディース病棟は2フロア1ユニットからなり、新生児期から老年期まで女性のライフサイクル全体に関わるフロアです。

助産師業務の基本として、妊娠期から産後ケア期まで継続的に関わり、各時期の対象者にしっかり寄り添うことを大切にしています。チームで成長するために、勉強会やシミュレーションなども積極的に実施しています。助産師外来、母乳外来、運動療法インストラクター等、皆さんの「こんな助産師になりたい！」「こんなことをやってみたい！」を応援します。一緒にチームで働いてみませんか？

人材育成・教育

クリニカルラダー 各病院の特性を生かしたクリニカルラダーを設定しています。

+ 臨床実践能力 段階別到達目標 (クリニカルラダー)

- レベル 1

1. 指導や教育を受けながら、安全確実な看護実践の基礎を身に付ける
2. 社会人、看護職員としての基本的な対応、マナーができる
- レベル 2

1. 指導を受けながら、看護実践能力を深めることができる
2. 自己の課題を明確にし、積極的に取り組むことができる
- レベル 3

1. 看護の個性・継続性を配慮した看護実践ができる
2. 自分の看護観や探求する心を育てる
- レベル 4

1. 専門領域の看護スペシャリストを目指す
2. 組織的な役割を理解し、遂行できる
- レベル 5

1. 看護実践におけるエキスパートとしてリーダーシップを発揮する
2. 自分の看護に対して専門性を追求し行動し、役割モデルとなる

(平成立石病院)

臨床実践能力 段階別到達目標 : クリニカルラダー

- レベルⅠ** : 基本的看護手順に従い、必要に応じ、助言を得て看護を実践する
- レベルⅡ** : 標準的な看護手順に基づき、自立して看護を実践する
- レベルⅢ** : ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
- レベルⅣ** : 幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する
- レベルⅤ** : より複雑な状況に於いて、ケアの受け手にとって最
の看護を実践する

看護師の卒後継続教育

クリニカルラダーに基づいたラダー別研修など、
看護師としてのキャリアアップ・スキルアップにつながる
継続教育にも力をいれています。



月	ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ-①	ラダーⅣ-②	委員会企画	スキルアップ研修	
4月	新人研修	社会人基礎力研修				看護必要度 感染看護 災害看護	認知症看護 がん看護 呼吸ケア 透析看護	
5月				リーダーシップⅡ				
6月		メンバーシップ	リーダーシップⅠ					
7月		医療安全		退院支援				
8月		急変時の対応	退院支援	医療安全（インシデント分析）				
9月		事例検討について	医療安全					
10月		事例検討	チーム ナースィング 検討会	意思決定支援				事例検討 看護研究
11月								
12月								
1月		事例検討発表						
2月		終末期の看護	取り組み発表会					
3月		プリセプターシップ						

(南町田病院)

年間研修計画例

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
施設安全基準 (必須)	医療安全	医療安全とはなぜ分析・KYT(新入職者対象)		① AED	医薬品研修				医療安全週間	② インシデント・アクシデント報告書の書き方			放射線科研修
	医療器械	アトムクベース	学研人工呼吸器の基礎					学研輸液ポンプ シンジポンプ		除細動器・心電図モニター		ドレーゲルクベース	
	医療ガス						医ガス研修						
	院内感染	必須研修(2回/年)											
	看護補助者		学研必須研修		食事介助・口腔ケア	移送・移乗		学研必須研修			おむつ交換・清潔ケア	学研必須研修	
看護	必要度	各病棟で年1回実施											
	その他		褥瘡NST研修		業務量調査					認知症研修	褥瘡NST研修	待ち時間調査	
	院内防災委員	防災館(新入職者対象)	トリアージ訓練	自衛消防訓練及び学研研修		看護部主催研修			自衛消防訓練及び学研研修			看護部主催研修	
	学会					母性衛生全日病予演会	母性衛生	全日病			都病協予演会	都病協	
	その他(開催月不明)	新入職者ストレスマネジメント		各委員会チェック		個人情報							
卒後研修	目標管理		目標管理①②	目標面接		クリニカルラダー[前期評価]	目標管理[前期評価提出]	目標面接(該当者のみ)	目標管理②		クリニカルラダー目標管理[後期評価]	目標管理[後期評価提出]	目標面接
	クリニカルラダー	クリニカルラダーレベル別研修			クリニカルラダーレベル別研修	学研(研究)研修	クリニカルラダーレベル別研修				学研(研究)研修	クリニカルラダーレベル別研修	クリニカルラダーレベル別研修
	1年目	新入職者研修	ローテーション研修	リフレッシュ研修			看護過程		急変時対応	看護過程発表会		リフレッシュ研修	
	2年目												
	3年目～							プリセプター研修			プリセプター研修	都病協	
実習				小児科外来実習・母性看護学実習				母性看護学実習		母性看護学実習			
病院行事		合同入職式 ボーリング大会 職員健診					ウォーキング大会		夜勤者健康診断	忘年会			

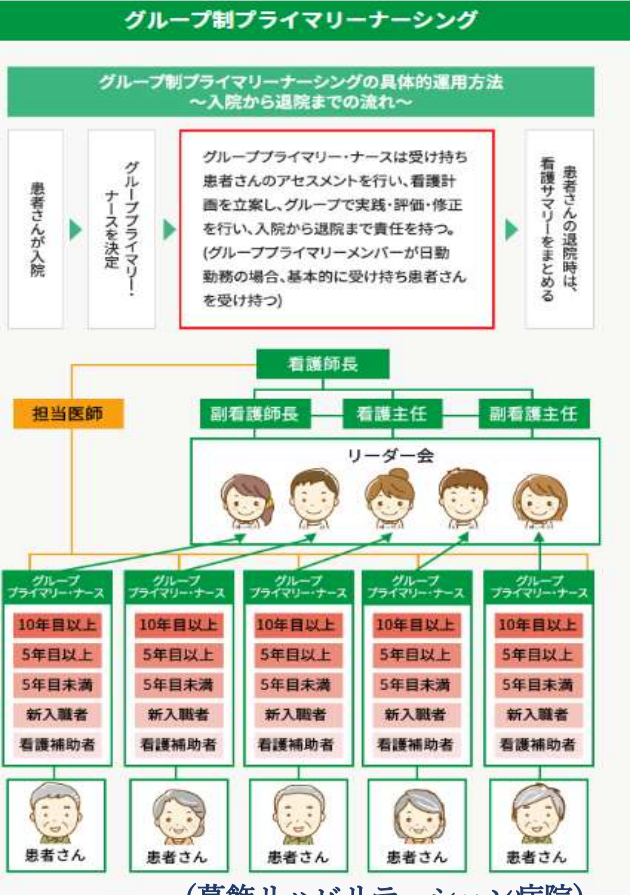
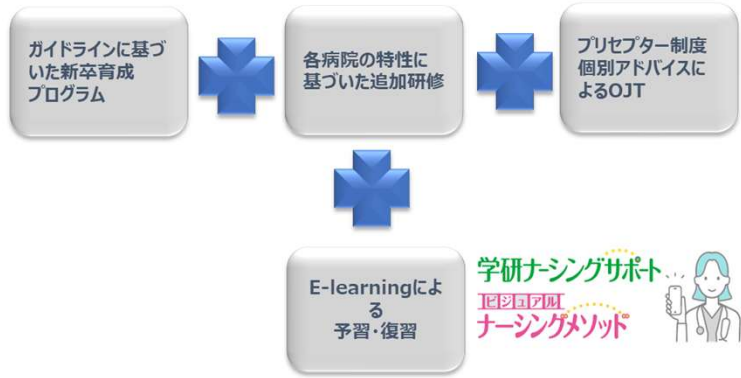
(荒木記念東京リバーサイド病院)

看護提供方式

チームナーシング、PNSなど、各病院の機能に応じた看護提供方式で看護実践しています。

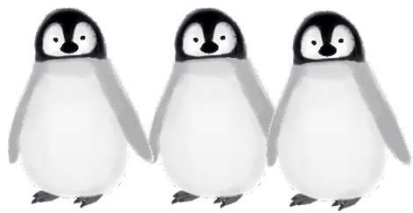
新卒教育

新卒専門職としての知識・技術の定着を図り、成長をサポートしています。



(葛飾リハビリテーション病院)

新人ナースの1年



振り返ると、1年目は大変だったと感ずることが多かった。でも、周囲の先輩方は親身になっていろいろ話を聞いてくれたり、アドバイスをしてくれたりした。そのおかげで、1年前の自分よりも成長できたように思う。看護が楽しくなってきた。もっともっと看護師としていろいろなことにチャレンジしていきたいと思う。

ROADMAP

もうすぐ一年。来年は先輩になるんだー。ちょっと不安だけど、頼ってもらえる看護師になりたいな、と思う。看護師として私自身もっと成長していきたい。

STEP

いよいよ夜勤スタート
一人でできるか心配。間違ったらどうしよう。
不安で眠れない…
ビーしょーーーーー
患者さんからも怒られちゃった…
落ち込むなあ。
定期面談で話を聞いてもらって、アドバイス
をもらったら、少し気持ちが落ち着いた。

職場のウォーキング大会
に参加。
意外と楽しい。
リフレッシュできた。

看護過程の研修があった。
そうだな、日々の業務のことばかり考
えていたけど、看護師としてどんな看護
をしていくのか、忘れていた感じ。こ
れからの看護について考えてみた。

PLAN

慣れてきた感じがする。
できることも増えてきた。
同期とも飲みに行ったり、旅行したり、仕事
もプライベートも充実してきていい感じ^^

START



初めての職場でドキドキ
できると思ったけどできないことだらけで焦る…
頑張るぞと思ったり、落ち込んだり…
でも、患者さんから、「ありがとう」と言われて、う
れしくて泣きそうになった。やっぱり頑張るぞ!

プリセプターから毎日いろいろなことを教えても
らう。職場の先輩からも。
何度同じことを聞けないな、怒られるかも、
と思っていたけど、聞いてよかった。わからない
ことは何でもきいてね、と言われた。ちゃんと聞
くことにしよう。



歓迎会&ボーリング大会
いろいろな人と話ができて
楽しかった!

E-learningは便利です。
予習・復習に活用して
います。通勤途中や家
でも見られます。



入職式/新人研修スタート



活躍するスペシャリスト



診療看護師(NP)

平成立石病院では、診療看護師(NP :Nurse Practitioner)3名、特定行為看護師6名が働いています。診療看護師と聞いても何をする人？と思う方はまだ多いと思います。そこで、今回は診療看護師について普段どのような働き方をしているのかを紹介したいと思います。

診療看護師(以下NP)とは、看護師経験5年以上で大学院修士課程を経てNP資格試験に合格した者のことです。大学院では、初めの1年間で主に臨床推論・臨床薬理学・臨床病態生理学といった医学的知識と、厚生省が定める21区分38行為の特定行為とそれ以外の医学行為について学びます。2年時には約半年間の臨床実習を通して、NPに求められる技術や組織の中でのNPの働き方を学びます。

卒業してからのNPの働き方は様々で、働く病院のニーズによって変わってきます。平成立石病院ではICUに2名の常勤NPと、ERに1名の非常勤NPが在籍しています。私たちの日々の業務内容は、毎朝NPと特定行為看護師が共にミーティングを行い、その日の処置や検査・手術の状況等を共有してからそれぞれの業務に入ります。ICUでは、病棟看護師とともに患者ケアを行いながら各病棟からの相談や処置対応や治療後の退院指導、人工呼吸器装着患者の呼吸器離脱までの管理などを病棟看護師とともにしています。また、各科の医師からの依頼でPICC挿入や、創傷処置、手術やカテーテル検査の助手なども行ったりしています。NPはそれぞれ所属病棟が違いますが、受持ちは持たず、垣根を越えて、その時々で患者さんに必要なケアや医師の治療サポートを行っています。時にはICUからERへ行き、初療から治療までを指導医と共にいたり、医師の診断後に創部縫合などの処置を行ったり、お互いに情報共有しながら業務をカバーし合って働いています。

今後は、患者さんのためになるさらなるタスクシフト・タスクシェアのカギとして、主治医不在時に安心して患者さんを任されるようなNPになりたいと思っています。私たちNPと特定行為看護師の活動の場が広がることで、患者さんへの治療が安全に素早く行えるように、さらには、地域と病院との架け橋になれたらと思っています。



◎平成立石病院



老人看護専門看護師

令和あらかわ病院は、2023年4月に開院し、慌ただしい日々ですが、これから創り上げていくという楽しみがあり、充実した毎日の中で新たな発見や気づきがたくさんあります。私は都内の大学病院で20年間勤務した後、当院へ入職しました。老人看護専門看護師として大学での活動は大変有意義な時間ではありましたが、やはり高齢者がより多い地域の中核病院で地域の高齢者の生活を大切にしたい看護を提供していきたいと思い、当院へ入職しました。

荒川区は、23区の中でも非常に高齢者が多い地域です。地域の高齢者の方々へ貢献できるように努めていきたいと思っています。いろいろな経験を有した看護師が集まっている病院です。私たちと一緒に働きませんか？



◎令和あらかわ病院



緩和ケア認定看護師



◎南町田病院

院内の認定看護師として直接患者さんやご家族から相談される機会が増えてきました。「相談外来」の窓口として自分がいることで早め早めに話ができるようになったことはよかったと思っています。また、病棟スタッフから入院患者さんの相談、外来の患者さんへの介入依頼を医師から受けることもあります。

南町田病院では、院内を横断的に関わることができるように体制として調整してもらっているので、大変働きやすいですし、やりがいを感じながら日々を過ごしています。



専門看護師、認定看護師、認定看護管理者、特定看護師、アドバンス助産師が多数活躍中！

グループ内で特定研修を受けることができ、スペシャリストの取得支援にも力を入れています。スペシャリストたちが横断的な活動をすることで、グループ全体の看護の質の向上を目指しています。皆さんも、チャレンジしてみませんか？



働くナースの声



急性期医療に関わりたい

& 病院の雰囲気がよい プライベートも充実!



2年目@花と森の東京病院

ICUのある当院に入職しようと思ったのは、ひとつは急性期医療に関わりたいと思っていた点にあります。救急車を積極的に受け入れているとのこと
で日々学べることは多いと思いました。ふたつめに当院は地域医療にも力
を入れており、退院後の生活を見据えた看護ができる点も魅力でした。

また、見学の際、皆さん気持ちのいい挨拶をしてくださり、病院全体の雰
囲気の良さを感じて入職を決めました。

- ・急性期医療、地域医療に携わることができる
- ・病院の雰囲気
- ・休日がしっかり確保されている

入職してから休日に関しては、事前に伝えればまとまった休みの希望を
通してくださるのでプライベートも充実できます



患者さんが元気になっていく姿

& 患者さんからの「ありがとう」に感動★



11年目
@葛飾リハビリテーション病院

面接に来院した際の雰囲気の良さで入職を決めました。リハビリテーション
病院ということで、患者様が元気になっていく姿を間近で見られることが仕事
の醍醐味です。リハビリを通じてドンドン元気になっていく過程を支援すること
ができ、退院時に「ありがとう」と伝えてくれる瞬間に出会えた時は感慨深いも
のがあります。

地域の特性上、生活保護の方、身寄りがいない方など生活背景に様々な
問題を抱えている方が多くいらっしゃるため、対応が難しかったり悩むこともあ
りますが、先輩看護師の助言を受けたり、カンファレンス等を通して多職種
のチームでより良い方法を検討し実践していく事で問題を解決していくことが出
来る日々は自分にとって大きな学びとなっています。



助産師として働きたい

& 手厚いサポートとフォローで成長を実感!

私が就職先を決めるにあたり大事にしていた「新卒から助産師と
して働く」ということが叶う職場だったのが大きな理由です。助産師
として新卒で働き、すぐに助産師としての知識や技術を身につける
ことができる点に加え、看護師として必要な看護技術についても
同時に身につけることができるのが良かったです。

また、インターンで訪れた際にはスタッフの皆さんが優しく迎えてく
ださり、風通しのよさを感じたのも大きな理由の1つとなりました。さ
らに、患者さんに対して皆さんが明るく丁寧に接しているのを見て、
私もこんな風に働いていきたいと思い入職することを決めました。

1年目はなかなか思うようにいかず苦しい日々が続きました。つい
この間まで学生だった私が、今は一医療者として看護を提供して
いるという状況についていけず孤独を感じるが多かったです。し
かし、そんな私を見かねて、先輩スタッフの皆さんが声をかけてくだ
さり励ましてくださいました。私が成長できるようにと時間を作って話
を聞いてくれたり、アドバイスをしてくれたりとても親身になってくだ
さいました。そのおかげで自分は一人ではないと思うことができ、誰
かに相談してもいいのだと自然に思えるようになりました。そこ
からは自分の看護ケアと向き合うことができ、日々自己研鑽してい
くことができている。自分が成長したいと願うときに周りの方が支
援してくださり、温かく見守ってくれる素敵な職場であることに感謝し
ています。



日々学べる環境と達成感>ストレス

自分の看護ケアの質を高めていきたい

私は、大学病院での勤務経験の後より地域に根ざした病院で働きたい気持ちから今の病院へ就職
しました。院内の中でも極めて重症な方々が入院されている病院に働いて3年目になります。大学病院
とは異なり、徐々に回復していく経過に寄り添い、関われる日々が楽しくて看護師でよかったと思える魅
力ポイントです。

最近では、水頭症で入院してきたMさんが、シャント術を経て徐々に会話が増え、自立で歩けるま
で回復し、回復期へ転院するまで関わることがとても印象に残っています。MさんがICUに入室中に自
分のしたケアが良かったことを話してくれた時はとてもうれしく思いました。ICU看護においては、多くの専門
知識や高い技術力が必要です。

私は学びたい・もっとスキルを高めたいという気持ちが強いので、重症看護をやる事のストレスよりも
日々学ぶことができる環境で達成感を得ることの方が大きいと感じます。一般床ではより患者とのコミュニ
ケーションを大切に考えます。時に認知症やせん妄の患者さんの対応に苦慮することもあります。せん
妄状態で「人殺し〜、おまわりさ〜ん。」と叫んでいた翌朝には「ありがとう。」と声をかけてもらえてうれし
くもあり、愛おしさを感じるがあります。



6年目@平成立石病院



仕事もプライベートも、充実のサポート

救急・急性期医療から回復期・在宅医療まで幅広い知識と技術が習得できます。

東京の“地域医療” “質の高い医療”の中で、各職種の専門性を発揮できます。

都内屈指の病院グループの安定した経営環境の中で安心して働くことができます。

資格取得支援制度・奨学金制度あり。学びと成長を支援します。

病院近くに寮あり。仕事とプライベートの充実と両立を支援します。

ホスピタルカウンセラーがいます。安心して相談できる場があります。



先輩たちの声より～仕事や職場の魅力とは？～

ホスピタルカウンセラーがいます。安心して働き続けられるように^^

★人のために役に立っているという実感が持てる

★人間関係がよい。安心して相談できる。厳しさもあるけど笑いあり、温かさを感じる

★先輩や上司からしっかりとした教育やアドバイスが受けられる

★自分の専門性を高め幅を広げる機会があり、専門職としての成長ができる

★毎日忙しいけど、達成感というかやりがいというか、そんな気持ちで翌日を迎えられる

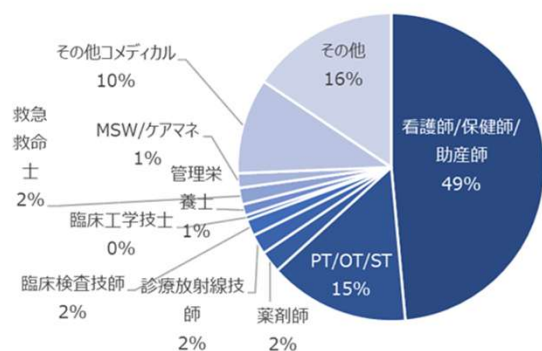


各病院の医療安全管理者が集まる医療安全連絡会議は、医療安全の質向上はもちろん、横断的な交流の場でもあります^^

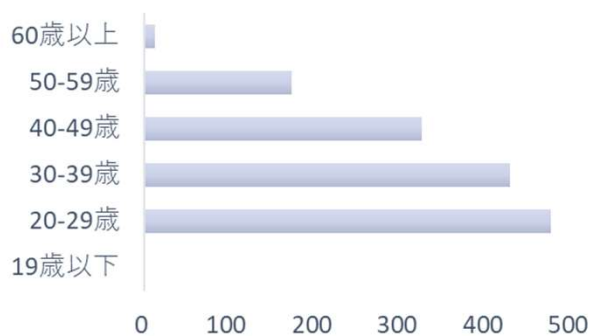


東京の地域医療を支える看護

職種別職員割合(医師除く)



年代別職員割合(医師除く)



総職員数は約3000名、平均年齢36歳の組織です

まずは



お問い合わせはこちらまで

社会医療法人社団正志会
本部 採用育成担当部門

TEL 03-5244-5375

FAX 03-3518-9962

メールアドレス: saiyo@trshp.jp

グループの
いろいろ



地域医療を支える、正志会グループ

<https://csmc-gp.jp/>